

気候情報

2012年4月の日本の天候

- 北日本で気温が低かった
- 月のはじめに北日本から西日本にかけて大荒れの天気

4月の天気概況

上旬は寒気や冷涼な高気圧に覆われた影響により全国的に気温が低く、北日本と東日本日本海側では曇りや雨または雪の日が多くなり、その他では晴れた日が多かった。急速に発達しながら日本海を進んだ低気圧の影響により、3日から5日にかけて、北日本から西日本の各地で大荒れの天気となり、広い範囲で記録的な暴風となった。また、北日本では上旬を中心に降雪量が多かった。中旬以降は、高気圧と低気圧が交互に通過し、全国的に天気は短い周期で変化したが、中旬後半から下旬はじめはオホーツク海高気圧の影響により、北・東日本太平洋側では気温が低く雲が広がる日が多かった。沖縄・奄美では、中旬以降は前線や湿った気流の影響により、曇りや雨の日が多かった。また、下旬は、沿海州付近の低気圧に向かって流れ込む南からの暖かい空気などの影響により、全国的に気温が高い日が多かった。

上旬：北・東日本を中心に冬型の気圧配置となった日が多く、また、西日本、沖縄・奄美では冷涼な移動性高気圧に覆われた日が多かった。このため、全国的に気温が低く、北日本と東日本の日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では晴れた日が多かった。急速に発達しながら日本海を進んだ低気圧の影響により、3日から5日にかけて、北日本から西日本の各地で大荒れの天気となり、広い範囲で記録的な暴風となった。また、この低気圧から南に延びた前線の通過に伴い、非常に激しい雨が降った所もあった。

中旬：旬の前半は日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過し、北日本から西日本にかけて天気は短い周期で変化した。旬の後半はオホーツク海高気圧の影響により、北・東日本太平洋側では気温が低く雲が広がり、北海道の太平洋側では顕著な低温となった日があった。また、西日本太平洋側と沖縄・奄美では、前線や湿った気流の影響により曇りや雨の日が多かった。

下旬：旬のはじめはオホーツク海高気圧の影響で、北・東日本太平洋側で雲が広がり気温が低くなった地域があった一方、東シナ海と黄海から東進した低気圧

の影響により、西日本太平洋側を中心に大雨となり、西日本各地で風が強まり荒れた天気となった。その後は低気圧と高気圧が交互に通過し、北日本から西日本にかけて天気は短い周期で変化したが、東日本太平洋側と沖縄・奄美では、低気圧や湿った気流の影響により曇りや雨の日が多く、沖縄地方は28日、奄美地方は29日に平年よりかなり早く梅雨入りした（速報値）。また、沿海州付近の低気圧に向かって流れ込む南からの暖かい空気などの影響により、全国的に気温が高い日が多かった。

4月の気候統計

月平均気温：北日本で低く、東日本で平年並だった。西日本、沖縄・奄美では高かった。

月降水量：北・東日本、西日本太平洋側で平年並で、西日本日本海側で少なかった。沖縄・奄美では多かった。

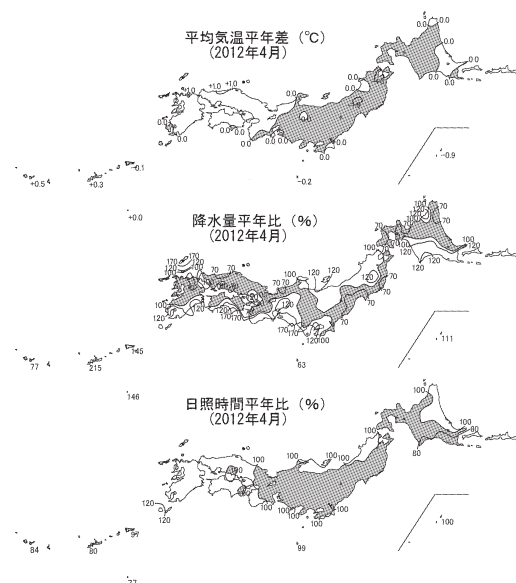
月間日照時間：北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。西日本では多く、北日本日本海側、東日本太平洋側では平年並だった。

（気象庁観測部情報管理室）

4月の記録（1位更新のみ）

月平均気温、月降水量、月間日照時間の1位更新はなし

2012年4月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。